

# 第45回 国際福祉機器展 H.C.R. 2018 報告

## 1 | オープニングセレモニー

多くの来場者や後援・協賛団体の関係者などが集まるなか、全国社会福協議会 斎藤十朗会長の開会宣言により、第45回国際福祉機器展 H.C.R. 2018が幕を開けました。開場前に催された『くす玉オープン』は、斎藤会長、H.C.R.海外コーディネーターのベン・アポロ・ラスムセン氏〔欧州担当〕、トム・ボーチャディング氏〔北米担当〕、高井康行本会理事長などによって執り行われました。

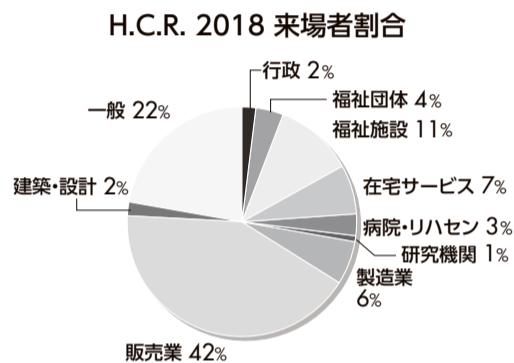
日時	10月10日(水) 9:50~
会場	東2ホール前



斎藤 十朗 会長

## 2 | 来場者数・来場者割合

来場者数は、会期3日間で、延べ119,452人にのぼり、来場者の割合では、例年以上に販売業関係者が42%と最も多くご来場し、次いで一般の方が22%という割合となりました。続いて福祉施設の11%、在宅サービス7%、製造業6%という順となりました。



## 3 | 出展社数

### ● 国別出展社数

出展社数は、国内から462社・団体（うち、新規出展は65社・団体）、海外からは13か国・1地域より84社・団体（うち、新規出展は22社・団体）が出展し、特に、デンマークやアメリカの他、中国や台湾などアジア圏から多くの出展がありました。

国名	社数
アメリカ	10
イギリス	6
イタリア	5
オーストラリア	1
オランダ	2
カナダ	3
韓国	4
スウェーデン	4
台湾	17
中国	12
デンマーク	11
ドイツ	6
日本	462
フィンランド	1
フランス	2

※国名50音順

### ● 製品別出展社数

H.C.R. 2018では、過去最大の展示面積に下記一覧の製品が多数展示されました。複数の製品を展示する出展社も多く、展示製品別で見たときの出展社数の総計は1,350社を超えています。

#### 【製品別出展社数一覧】

移動機器（車いす等）		ベッド用品（その他）	20
手動車いす	61	入浴用品	
車いす関連用品	77	浴槽	25
電動車いす	48	入浴用チェア	31
電動三輪・四輪車	6	滑り止め用品	14
自転車	4	浴槽台	7
介助車	13	入浴用リフト	13
移動機器（杖、歩行器等）		入浴用品（その他）	15
歩行器、歩行補助車	49	トイレ・おむつ用品	
杖	35	ポータブルトイレ	20
移動機器（リフト等）		便器・便座	8
ストレッチャー等移動器具	13	防臭剤、消毒剤	5
移乗補助機器	30	トイレ関連用品	22
床走行リフト	27	おむつ関連用品	6
固定式・据置式リフト	19	自動排泄処理装置	11
介助・歩行補助ロボット	13	衣類・着脱衣補助用品	
福祉車両、関連機器		衣類	18
障害者用自動車運転装置	12	靴	14
車いす等福祉車両	17	帽子、保護帽、かつら	2
入浴用特殊車両	4	着脱衣補助具	1
福祉施設等業務用自動車・エコカー	6	コミュニケーション（聴覚・視覚）・見守り機器	
ベッド用品		補聴器	2
ベッド	21	緊急通報・見守り装置	28
マットレス、床ずれ防止製品	42	障害者用OA機器、ソフトウェア、操作補助具	15
サイドテーブル	8	障害者用AV機器	2
介護用シーツ	11		

拡大読書器	3	介護等食品、調理器具	
活字文書読上げ装置	1	食事用品、食器	12
福祉電話、FAX、携帯会話補助器	4	キッチン	5
視覚障害者用誘導システム	2	調理器	6
コミュニケーション関連ロボット	10	高齢者・障害者向け食品	5
コミュニケーション・見守り機器（その他）	31	福祉施設環境設備・用品	
建築・住宅設備		施設建築、施設用床材・壁材	4
スロープ	22	洗濯機、乾燥機、掃除機、脱臭機	8
手すり	32	いす、座位保持・立ち上がり補助用品	15
エレベーター	4	家具、テーブル、洗面台	12
段差解消機	10	火災報知設備、自動消火設備	1
階段昇降機	10	防災・避難用品	7
建築・住宅設備（その他）	9	介護職員用衣類	9
リハビリ・介護予防機器		福祉施設環境設備・用品（その他）	14
歩行等訓練機器	36	感染症等予防用品	
リハビリ用教材・機器	41	空気清浄機、加湿器、消毒器	10
筋力トレーニング機器、身体機能訓練機器	38	感染症等予防用品（その他）	14
口腔ケア用品	12	在宅・施設サービス経営情報システム	
義肢、装具		福祉事業関係コンピュータシステム	36
義肢、装具	14	出版、福祉機器情報	
日常生活支援用品		福祉・介護・リハビリ・保健関係書籍・教材、情報誌、新聞、放送通信、福祉機器関連webサイト	28
自助具	18	製品別出展社数計	1357
障害者スポーツ・レクリエーション用品	12		
介護関連用品	33		
日常生活支援用品（その他）	27		

### ● 感謝状贈呈式

出展社の中から、H.C.R. 2018で15回目の出展を迎える下記12社（うち、2社は贈呈式欠席）を、会期初日の10月10日（水）に、東2ホール前にお招きして感謝状と記念品を贈呈しました。

#### 15回目の出展を迎えられた出展社

- 株式会社イツミ
  - 株式会社キャロツシステム
  - 九セラ株式会社
  - 株式会社総合サービス
  - 株式会社タマツ
  - 独立行政法人労働者健康安全機構 総合せき損センター
  - 株式会社ニホン・ミック
  - ハイウィン株式会社
  - 羽立工業株式会社
  - 有限会社ハニーインターナショナル
  - パンテラ・ジャパン株式会社
  - ユニットレンド株式会社
- ※社名50音順

## 4 | 国際シンポジウム

「仕事と育児・介護の両立支援」をテーマに有益な議論が飛び交う充実した場となりました！

H.C.R.では、毎年、わが国と海外に共通した福祉・介護分野の課題について、諸外国から招いた専門家による報告を基にした「国際シンポジウム」を開催しています。

2018年は、「仕事と育児・介護の両立支援～その現状と対策～」をテーマに開催し、国を挙げて両立支援のための先駆的な施策を展開するスウェーデンの現状と課題の報告、また日本の現状についての議論が繰り広げられました。

特にスウェーデンは、育児支援において、自治体に対し1～12歳の子どもを持つ親すべてに育児サービスの提供を義務化し、0～6歳児を持つ母親の雇用率は80%を超えます。さらに、父親の育児休暇促進策として、休業前賃金の約80%が支払われる日数の一部をパートナーへの譲渡ができない「父の月」と定めており、男性の育児休業は2017年には45%まで上昇しています。

一方、介護支援においては、自治体が行うサービスを高齢者本人のみならず、その家族や親族をも対象とし、さらには経済補償として雇用・介護手などが設けられています。

本シンポジウムで説明のあったこれらの内容を含め、200人を超える参加者ととともに、今後わが国がめざすべき両立支援策の視点などについて考察した内容を報告書にまとめ、本年2月に刊行する予定です。

日時	10月11日(木) 13:00~16:00
会場	特設会場G1(東8ホール内)
シンポジスト	スウェーデン/アニタ・ニーベルグ氏 ストックホルム大学 名誉教授 日本/池田 心豪氏 独立行政法人 労働政策研究・研修機構 主任研究員
チューター	塚田 典子氏 日本大学 商学部 教授、一般財団法人 保健福祉広報協会 理事



アニタ・ニーベルグ氏



池田 心豪氏

## 5 | H.C.R.セミナー

### 例年以上に幅広い方々の日々に役立つ多彩なテーマを開催

福祉サービスを利用されている方々やその家族、福祉・介護関係者、企業関係者などに向けて、社会保障関連制度の動向や課題、福祉サービスの質の向上や施設の経営をめぐる最新の情報などを提供する場として、計10講座を開催し、延べ3,265人が参加しました。

#### (1) 一般、福祉サービス利用者・家族向け

##### ① 一般家庭の介護で腰痛にならないための基本技術

～ボディメカニクスの理解と活用～

日時	10月10日(水) 10:30～12:00
会場	特設会場G2(東8ホール内)
講師	青柳 佳子氏 浦和大学 短期大学部介護福祉科 特任教授

##### ② 補助犬(盲導犬・介助犬・聴導犬)を理解しよう

日時	10月12日(金) 10:30～12:00
会場	特設会場G1(東8ホール内)
講師	高柳 友子氏 日本身体障害者補助犬学会 理事/医学博士

##### ③ はじめての福祉機器 選び方・使い方セミナー

下記3編10テーマに分類された福祉機器(用具)の適切な選び方・使い方などを各専門家がわかりやすく解説しました。



10月10日(水) 住宅改修編	● トイレ・排泄用品 ● 住宅改修 ● 入浴機器
10月11日(木) 基本動作編	● ベッド ● リフト等移乗用品 ● 杖・歩行器等補助用品 ● 車いす
10月12日(金) 自立支援編	● 福祉に役立つ情報機器・電子機器 ● 福祉車両 ● 自助具

※会場はいずれも特設会場D(東6ホール内)

##### ④ 高齢者むけの手軽な日々の食事

～総菜やレトルト食品をおいしくバランスアップ～

スーパーの総菜・レトルト食品などをもとにして、ひと工夫を加えることによって、高齢者の毎日の食事を、簡単で、豊かに、かつ、栄養バランスがとれる食事の作り方を実演を交えて紹介しました。

日時	10月10日(水)～12日(金) 13:00～14:00
会場	特設会場A(東1ホール内)
講師	今 寿賀子氏 虎の門病院 栄養部 前部長 押田 京子氏 虎の門病院 栄養部 副部長

#### (2) 福祉職・介護職向け

##### ① 福祉施設の実践事例発表 ～役立つ、活かせる工夫とアイデア～

日時	10月10日(水) 13:30～16:00
会場	特設会場G1・G2(東8ホール内) ※高齢者福祉分野と障害者福祉分野を2会場にて開催
発表事例	<p>≪特設会場G1/高齢者福祉施設・事業所における工夫事例≫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 認知症高齢者とのコミュニケーション法(バリデーション)を現場実践に活かす</li> <li>● ICT活用による業務効率化 ～インカム・タブレットの導入による魅力ある職場づくり～</li> <li>● 排泄予知デバイスDFreeを活用した排泄ケア～QOLの向上につながる実践～</li> <li>● 『ながはま子ども食堂』から、地域の輪の広がりに ～子どもが元気+大人が元気=地域が元気!～</li> <li>● 外国人介護人材との共生～事業を継続していくための決断～</li> </ul> <p>司会進行:湯川 智美氏 社会福祉法人 六親会 常務理事、一般財団法人 保健福祉広報協会 監事</p> <p>≪特設会場G2/障害者福祉施設・事業所における工夫事例≫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● リフト導入による利用者の安心安全な支援の実現</li> <li>● 地域に根ざし、高売上を実現するファール ニエンテ(A型事業所)の挑戦 ～『味』『ひと』『場所』三位一体の訴求力～</li> <li>● 福祉機器の活用による骨粗鬆症の方への自立支援</li> <li>● 競争相手のいない商品開発で就労継続支援B型事業利用者の工賃財源確保を</li> <li>● 障害者支援施設 誠光荘の災害への取り組み～群馬県災害ネットワークとの連携～</li> </ul> <p>司会進行:久木元 司氏 社会福祉法人 常盤会 理事長、一般財団法人 保健福祉広報協会 理事</p>

##### ② みんなの認知症情報学による根拠に基づくケアの実現

～認知症の人の情動理解とコミュニケーション支援～

日時	10月11日(木) 10:30～12:00
会場	特設会場G2(東8ホール内)
講師	石川 翔吾氏 静岡大学 情報学部 助教

##### ③ 福祉施設における感染症の知識と対応

～知っておきたい感染症対策のポイント～

日時	10月12日(金) 13:00～14:30
会場	特設会場G2(東8ホール内)
講師	石原 美和氏 公立大学法人 宮城大学 看護学研究科 教授

##### ④ 福祉機器をめぐる二つの最新動向 ～貸与制度はどう変わるか、介護ロボット等の施設活用をいかに進めるべきか～

日時	10月12日(金) 13:30～15:00
会場	特設会場G1(東8ホール内)
講師	五島 清国氏 公益財団法人 テクノエイド協会 企画部長

#### (3) 企業関係者向け

##### ① 介護ロボット(福祉機器)の安全性・導入効果を最大化するために

～安全性認証と効果測定をとりまく情勢と実務～

日時	10月10日(水) 10:30～12:00
会場	特設会場G1(東8ホール内)
講師	大場 光太郎氏 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 ロボットイノベーション研究センター 副研究センター長 吉村 俊厚氏 経済産業省 製造産業局産業機械課 ロボット政策室 室長補佐(ロボット政策担当)

##### ② 超高齢社会先進国・日本が手掛ける介護・福祉イノベーション

～日本とアジア諸国の現状・課題とともに～

日時	10月11日(木) 10:15～11:45
会場	特設会場G1(東8ホール内)
講師	Dr. Intan Murnira Ramli ERIA (Economic Research Institute for ASEAN and East Asia) 井上 剛伸氏 国立障害者リハビリテーションセンター研究所 福祉機器開発部長 Mr. Chua Hoi Wai 香港社会服務聯合会 (The Hong Kong Council of Social Service) Mr. Sranyoo Chanate Chief Executive Officer, Kluaynamthai Hospital Bangkok, Thailand Dr. Nart Fongsmut Sawangkanives Home for Thai Elderly Prof. Liang-Kung Chen National Yang Ming University, Taipei Veterans General Hospital
モデレーター	富原 早夏氏 経済産業省 ヘルスケア産業課医療・福祉機器産業室長

## 6 | 特別企画

様々な企画ごとに製品の常設展示、相談受付、講座などを実施

##### ① アルテック講座2018 ～身の回りにおけるテクノロジー(アルテック)で創る豊かで楽しい生活

<特設会場B(東6ホール会議室)>

本講座では、スマートフォンやタブレットなどの情報機器や電子機器を、障害のある人の生活や学習・就労支援に活かすアイデアとともに紹介しました。



##### 【講座テーマ】

10月10日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 見ることに困難のある人のスマホ・タブレット活用 —アルテックを用いた視覚障害のある人の生活支援—</li> <li>● 身の回りにおける情報機器を用いた障害のある人の生活支援 —パソコンやスマートスピーカーの利用—</li> <li>● スマホやタブレットのアクセシビリティ —肢体不自由の人がスマホやタブレットを使いこなす—</li> </ul>
10月11日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教育の合理的配慮とアルテック</li> <li>● 障害者雇用とアルテック —障害者雇用現場でのアルテック活用の実例—</li> <li>● 身の回りにおけるテクノロジー(アルテック)が支援技術に変わる —高齢者や障害のある人の生活支援—</li> </ul>
10月12日(金)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アルテックを読み書きなどの学びのツールに変える —アルテックを用いた発達障害や認知障害のある人の生活支援—</li> <li>● スマホ・タブレットや3Dプリンターを生活支援ツールに変える —肢体不自由のある人の支援のポイント—</li> <li>● アルテックを利用した重度肢体不自由や重複障害のある人の生活・コミュニケーション支援</li> </ul>

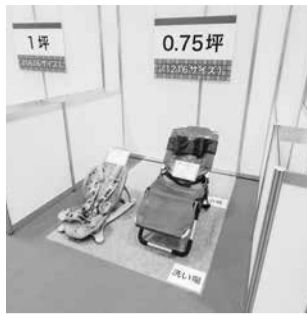
② 障害児のための「子ども広場」

<特設会場C (東6ホール内)>

障害のある子ども向けの福祉機器の開発・普及や親の子育て療育の不安を解消するため、下記4つのコーナーを開設しました。

●福祉機器展示コーナー

親子で参加して試せる子ども向けの福祉機器の展示と製品説明を行いました。



展示製品	●車いす ●バギー・歩行器 ●いす・カーシート ●学習・訓練機器/コミュニケーション機器 ●食器用具・食器/衣類・靴 ●入浴用具/家具
------	---

●相談コーナー (療育相談と福祉機器相談)

「療育」と「福祉機器」のそれぞれに相談員を配置し、相談に応じました。

●現在も未来も大切です！子どもの住まい(肢体不自由・発達障害)相談コーナー

子どものための住宅改造事例を肢体不自由編と知的障害・発達障害編に分け、パネルで紹介し、リハビリテーションセンターの建築士などが相談に応じました。

●ひとやすみコーナー

保育士が常駐し、おもちゃを使って子どもたちと遊んだり、保護者と子育てについてお話する場としました。

③ 日常生活支援用品コーナー「片手でも使えるモノ展」

<特設会場C (東6ホール内)>

本コーナーでは、「片手でも使えるモノ展」と題して、ブース内を一日の生活の中の具体的な場面に分類し、場面ごとに役立つ製品を常設展示しました。また、一部の製品は、H.C.R.セミナー「高齢者むけの手軽な日々の食事」を開催する特設会場A (東1ホール内) でも展示しました。



④ 補助犬コーナー

<特設会場C (東6ホール内)>

障害のある方のパートナー「盲導犬」「介助犬」「聴導犬」を紹介する場を新設しました。



本コーナーに関連して、⑥体験スペースで行われた「補助犬3種によるデモンストレーション」やH.C.R.セミナーの「補助犬(盲導犬・介助犬・聴導犬)を理解しよう」においても、補助犬3種を紹介しました。

⑤ ふくしの相談コーナー

<特設会場C (東6ホール内)>

作業療法士や技師などの専門家が、福祉機器や自助具に関わる来場者の相談に無料で応じました。

⑥ 体験スペース

<特設会場C (東6ホール内)>

●補助犬3種によるデモンストレーション

10月10日(水)に1回、10月11日(木)・12日(金)は各2回、補助犬3種が間近でデモンストレーションを行い、補助犬3種の理解を深める場としました。



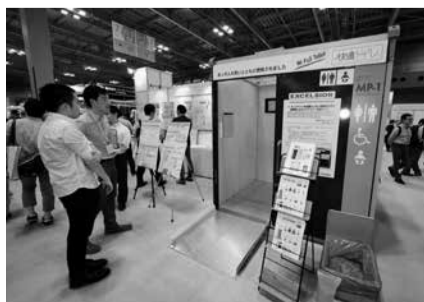
●自助具製作講習会

ストローホルダーやグリップ付スプーンの製作体験などを実施し、自助具に関する理解を深めました。

⑦ 福祉機器開発最前線

<特設会場E (東7ホール内)>

厚生労働省の障害者自立支援機器等開発促進事業の対象製品を含む10点超の最新の機器の展示とデモンストレーションを実施しました。



製品・プロジェクト名	協力企業・団体
1. シンクロアスリート VRとモーションベースで、スポーツの臨場感を体験するシステム	国立東京工業高等専門学校
2. 入浴介護アシストロボット 被介護者のより安全・快適な入浴と、介護者の負担軽減をめざすロボット	カナヤママシンリー株式会社 / 国立大学法人 富山大学
3. ライフラインを必要としない高性能な排泄処理剤によるバリアフリー仮設トイレ 災害等でインフラが寸断された時に使用できるバリアフリー仮設トイレ	株式会社エクセルシア
4. Vibracion Cajon 打楽器の発生する振動を活用し、障害の有無に関わらず一緒に演奏ができる楽器	金箱淳一 / モンブラン・ピクチャーズ株式会社
5. ratatap 音が「見える」ことで、障害の有無に関わらず音楽が楽しめる楽器	金箱淳一 / モンブラン・ピクチャーズ株式会社
6. Musiarm 欠損している腕に装着し、演奏することができる義手タイプの楽器	畠山海人
7. Qピット LED光やリズムを用い、すくみ足を解消する身体装着型の移動支援機器	有限会社ホームケア渡部建築
8. 指伝話コミュニケーションパック iPad上で動作し、日常会話機能やメール操作のアシスタント機能などを有するアプリ	有限会社オフィス結アジア
9. IoT杖による見守りサービス GPSなどが内蔵されたIoT機器を杖に取り付け、外出時の位置情報などを提供する見守りサービス	公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所
10. 視覚障がい者移動支援サービス スマートフォンなどを組み合わせ、目的地まで音声でのナビゲーションや障害物などを知らせるサービス	公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所
11. Body-KIN 介護予防・リハビリのため、「いす」から立ち上がる動作をカメラで計測し、筋力を測定するシステム	兵庫県立福祉のまちづくり研究所 ロボットリハビリテーションセンター
12. VRを用いたニューロリハビリテーション VRを使ったリハビリで幻肢痛の改善をめざす研究プロジェクト	国立情報学研究所 (稲邑研究室)
13. RODEM ベッドやトイレなどから一人で移乗ができる次世代型車いす	CBC株式会社

※12はブースでの展示・説明のみ

⑧ パラスポーツコーナー

<特設会場F (東7ホール内)>

パラスポーツを「見て・聞いて・体験して」知ることができる下記4つのエリアを新設し、パラスポーツの魅力を伝えました。

●コートエリア

オリンピックやパラリンピックに出場経験のあるアスリートの方々をお招きし、アスリートトークショーや、デモンストレーション・体験会を実施しました。

【アスリートトークショー】

日時	10月10日(水) 12:45~13:15
ゲスト	松田 丈志 氏 元競泳選手 村上 桃佳 氏 パラアルペンスキー選手



【デモンストレーション・体験会】

ウィルチェアラグビー

日時	10月10日(水) ①11:30~12:30、②13:45~14:45 10月12日(金) ①11:00~12:00、②13:00~14:00
ゲスト	峰島 靖 氏 一般社団法人 日本ウィルチェアラグビー連盟 その他現役選手



車いすバスケットボール

日時	10月11日(木) ①12:00~13:00、②14:00~15:00
ゲスト	三宅 克己 氏 一般社団法人 日本車いすバスケットボール連盟 その他現役選手

※その他コートエリアでは、パラスポーツ用車いすの試乗体験などを実施し、常時パラスポーツの理解を深める場としました。

●パラスポーツミニ体験エリア

常時、誰でも参加することができるボッチャの体験を実施しました。

●パラスポーツ紹介エリア

パラスポーツの競技写真や使用されている機器・用具を常設展示しました。

●パラスポーツ機器最前線エリア

陸上用義足や競技用車いすなど、パラスポーツを支える最新機器の展示と、説明パネルでの解説を行いました。

⑨ 被災地応援コーナー

<ブース番号1-06-05 (東1ホール内)>

例年同様に、災害に見舞われ、復興に取り組みながら製造・生産活動に取り組む障害者就労支援施設・事業所の製品を販売しました。

## 7 | 出展社プレゼンテーション

会期3日間、出展社プレゼンテーションをⅠとⅡに分け、50を超える出展社の企画・運営により開催しました。

### 出展社プレゼンテーションⅠ プログラム

入場無料／参加自由

<東展示ホール 1 階会議室>

会場	時間	出展社名
1-A	10:30~11:30	日本ガラスフィルム工事業協会 (JGFA) テーマ：社会に貢献ウインドウフィルム！ 創ろう未来の窓環境！
	12:30~13:30	仙台フィンランド健康福祉センター テーマ：介護×ITの取組みと製品等がもたらす介護負担の軽減
	14:30~15:30	一般社団法人 日本福祉用具供給協会 テーマ：ご利用者本位の質の高い福祉用具選定とは
1-B	10:30~11:30	クラリオン(株) テーマ：服薬支援ロボット [KR1000-A] を活用した服薬管理
	12:30~13:30	(株)フォーライフメディカル テーマ：RODEM “質の高い生活を、すべての人に”
	14:30~15:30	公益財団法人 テクノエイド協会 テーマ：プラネット福祉用具アワードが目指す「福祉用具社会」
1-C	10:30~11:30	(株)エス・エム・エス テーマ：2018年制度改正の振り返りと2021年へ向けた対策
	12:30~13:30	一般社団法人 全国福祉用具専門相談員協会 テーマ：福祉用具専門相談員が履修すべき新たな更新研修を実施
	14:30~15:30	(株)シーディーアイ テーマ：自立支援を目指すケアデザイン人工知能のご紹介

会場	時間	出展社名
1-A	10:30~11:30	サンヨーホームズ(株) テーマ：回復期リハビリに機器の使用有無が与える影響について
	12:30~13:30	一般社団法人 日本福祉用具・生活支援用具協会 (JASPA) テーマ：ヒヤリ・ハットを知り重大事故を防ごう (移動機器編)
	14:30~15:30	アビリティーズ・ケアネット(株) テーマ：腰痛予防とリハビリに効果的な天井走行リフト
1-B	10:30~11:30	アーバン警備保障(株) テーマ：認知症徘徊感知機器 iTUMO いつも取扱店の募集！
	12:30~13:30	パラマウントベッド(株) テーマ：医療・介護ベッド事故と対策介護ベッドにできること
	14:30~15:30	マッスル(株) テーマ：介護ロボットで、何が変わった？！
1-C	10:30~11:30	パシフィックサプライ(株) テーマ：全く新しい移乗用具システム「サテンシート」のご紹介
	12:30~13:30	(株)パシフィックウエーブ テーマ：プロが認めた「ずれ力吸収素材」で介護環境が激変する
	14:30~15:30	北九州市介護ロボット開発コンソーシアム テーマ：人とテクノロジーが創る介護現場のイノベーション

会場	時間	出展社名
1-A	10:30~11:30	TOTO(株) テーマ：高齢者向け水まわり空間の安心・安全配慮の取り組み
	12:30~13:30	旭(株) テーマ：介護職のビギナーからエキスパートにも役立つ調理実習
	14:30~15:30	(株)プラッツ テーマ：変形・拘縮を福祉用具の活用で改善しよう！
1-B	10:30~11:30	常磐精工(株) テーマ：『机⇒ストレッチャー』新発想緊急対策用品のご紹介
	12:30~13:30	ピジョン タヒラ(株) テーマ：残存能力活用！人手不足を抱える現場の負担も軽減
	14:30~15:30	インフォコム(株) テーマ：IoTを活用した介護業務の効率化
1-C	10:30~11:30	一般社団法人 日本リハビリテーション工学協会 テーマ：強化段ボールを使った福祉用具のデザインと被災地支援
	12:30~13:30	国立大学法人 信州大学 テーマ：ロボティックウェア curara® 事業化に向けて
	14:30~15:30	公益社団法人 日本理学療法士協会 テーマ：福祉機器販売に関わる方に伝えたい在宅からの気づき

### 出展社プレゼンテーションⅡ プログラム

入場無料／参加自由

<東展示ホール 2 階会議室>

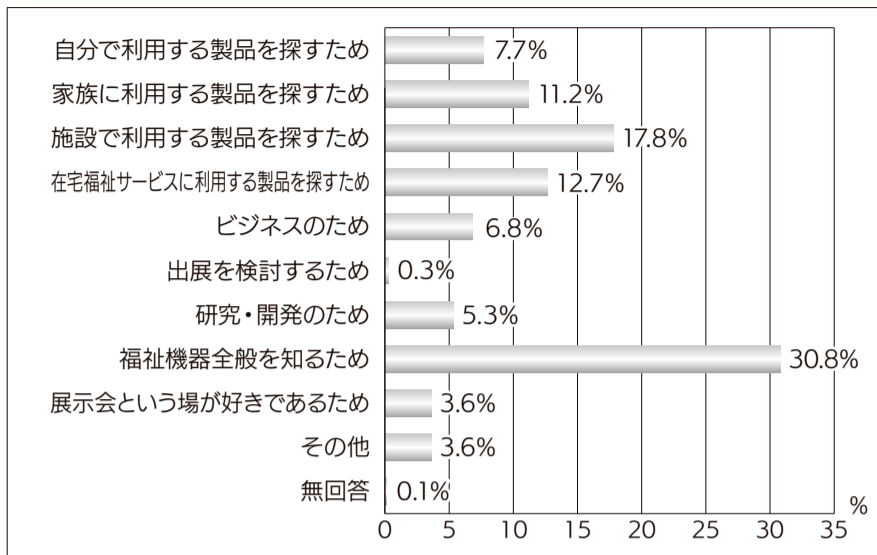
会場	時間	出展社名
2-A	10:30~11:30	トリプル・ダブリュー・ジャパン(株) テーマ：QOL向上を目指した排泄個別ケア ～DFreeを活用した効果的な自立排泄支援～
	12:30~13:30	スマイルファクトリー(有) テーマ：高齢者のための遊具で楽しくリハビリテーション
	14:30~15:30	Performance Health テーマ：簡単に取り組める、ゴムの弾性を活用したリハビリ機器
2-B	10:30~11:30	AUTOLIFT S.r.l. テーマ：障害のある人を安全にプールの出入を可能にするリフト
	12:30~13:30	medica Medizintechnik GmbH テーマ：画像ソフトで楽しみながら運動できるリハビリ機器
	14:30~15:30	OM INTERACTIVE LIMITED テーマ：映像システムをリハビリに活用した画期的システム
2-C	10:30~11:30	(株)シルバー産業新聞社 テーマ：「上限設定」開始！福祉用具と自立支援・重度化防止
	12:30~13:30	ROPOX テーマ：美しく機能性の高いデザインの水周り機器シリーズ
	14:30~15:30	ROHO,Inc. テーマ：世界中で普及、床ずれ予防口ホクッションとマットレス
2-D	14:30~15:30	LIFTUP A/S テーマ：床から人力で抱え上げず、安全に起き上げ可能なリフト

会場	時間	出展社名
2-A	10:30~11:30	神戸医療産業都市 テーマ：神戸医療産業都市神戸市内企業のご紹介
	12:30~13:30	羽立工業(株) テーマ：地域住民主体の介護予防実現！のための攻略法
	14:30~15:30	羽立工業(株) テーマ：簡単・効果期待！自立体カトレーニング&体力評価実践
2-B	10:30~11:30	RIFTON EQUIPMENT テーマ：人間工学的な自然な歩行姿勢を元にした歩行訓練機器
	12:30~13:30	(株)ワイズマン テーマ：介護老人保健施設 カトレアにおけるIT導入とその成果
	14:30~15:30	(株)シナノ テーマ：ポールウォーキング体験会
2-C	10:30~11:30	Handicare Bathroom Safety BV テーマ：シンプルデザインで安全性に留意した水周り製品
	12:30~13:30	Pressalit A/S テーマ：利用者にあわせ、任意に高さや幅を変えられる手すり
	14:30~15:30	Excellent Systems A/S テーマ：部材の組み合わせで段差を解消、「ブロックビルド」
2-D	10:30~11:30	(株)ザオバ テーマ：平成30年介護保険法改正対応！介護施設の収益改善
	14:30~15:30	CHANGZHOU WONSH RAMP INDUSTRY CO., LTD. テーマ：設置場所に応じ部品の組み合わせで作るスロープ

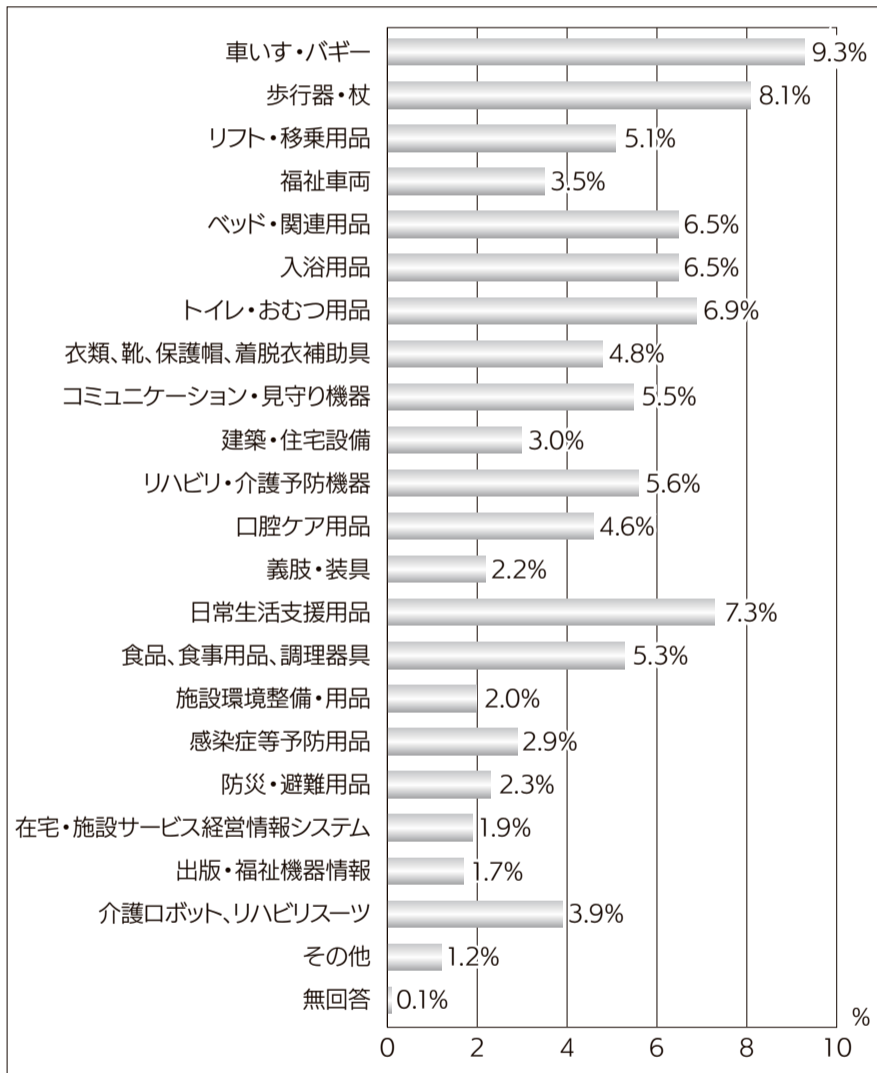
会場	時間	出展社名
2-A	12:30~13:30	アビリティーズ・ケアネット(株) テーマ：給水、排水の埋設工事が不要のバリアフリートイレ
	14:30~15:30	羽立工業(株) テーマ：健康づくりのやる気のスイッチON！
2-B	10:30~11:30	(有)パムック テーマ：シーティングが拓く未来・これからの在宅生活を考える
	12:30~13:30	FOCACCIA GROUP AUTOMOTIVE テーマ：車いすごと乗りこみでき、最大7人のスロープ付VW車
	14:30~15:30	トーテックアメニティ(株) テーマ：ICT利用による介護の変革
2-C	10:30~11:30	Roll-A-Ramp テーマ：必要時に広げ、不要時には巻いて収納ができるスロープ
	14:30~15:30	Langhøj ApS テーマ：車いすの走行性を高めるレバー式駆動システム
2-D	10:30~11:30	Garaventa Lift テーマ：屋内、屋外の階段や段差に設置できる階段・段差解消機
	14:30~15:30	Wheelchair Friendly Solutions Inc. テーマ：砂浜など歩きにくい場所でも車いすで移動可能なマット

## 8 | 来場者アンケート結果 — 4,249件回収

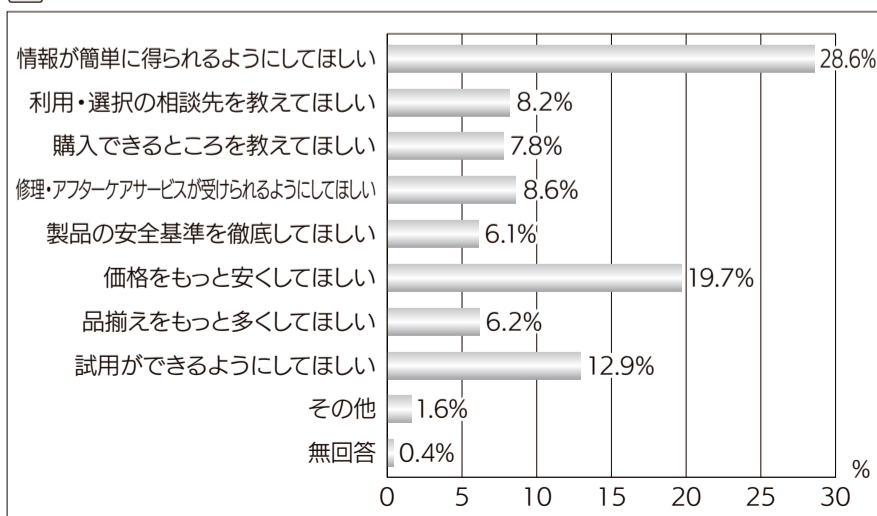
### ① H.C.R. 2018への来場の目的〔複数回答〕



### ② お探しの製品の種類〔複数回答〕



### ③ 福祉機器の利用についての要望〔複数回答〕



### ④ 福祉機器の利用についてのご意見、ご要望（フリーアンサー 一部抜粋）

- 各メーカーが出展する同じカテゴリー製品機能の比較結果がWeb上などで見れると、これまで以上に福祉機器を選びやすくなると思います。
- 製品の情報を見るときに、できる限り安く購入あるいは貸与できる情報もあわせて知ることができると良いと思います。
- 展示会で気になった製品を身近に試用できる場の情報が欲しいです。
- 実際に製品を利用している一般の方や施設関係者の声を知ることができると良いです。
- 展示会や常設展示場などで、福祉機器を利用している人の要望やアイデアを受け付け、企業や団体などに知ってもらえるシステムがあると良いと思います。
- 福祉現場のニーズの反映を可能とし、実用性の高い製品の開発に期待します。
- 各企業で定期的に製品のデモンストレーションを含めた情報の提供を行う機会が必要だと思います。
- 福祉機器を利用している人と企業との意見交換が行える場が欲しいです。
- 既製のものだけでなく、1人ひとりにあった製品をオーダーメイドできる企業や団体が増えてほしいです。
- デザインを豊富にし、多様な人が利用しやすい製品の開発をのぞみます。
- 最新の製品のPRだけでなく、従前の製品との違いや製品を最新にした目的も教えてほしいと思います。
- 障害児の成長にあわせた製品を増やしてほしいです。
- 一般家庭で簡単に利用できる認知症予防や介護予防製品がもっと増えてほしいです。
- 車いす利用者が安全に移動できるように、ベルなどの便利な付属品の使用の理解が身近な場所ですむよう普及してほしいです。
- 保険適用外の福祉機器は、購入・貸与に関するサポートが十分でない分、アフターサービスや処分などのサポートをしてもらいたいです。
- 自治体をあげて、必要な場合の独居高齢者の見守りのための機器やシステムのいっそうの活用をすすめていくことが必要だと思います。
- AIやICTなどの最先端技術を活用したコミュニケーション支援機器の導入に期待したいです。
- オリンピック・パラリンピックに向け、ユニバーサルデザインによる製品の普及が気になります。
- H.C.R.WebサイトやHCRアプリの製品検索で、企業のホームページだけでなく、該当製品のページに直接リンクできると福祉機器選びに便利です。
- 様々な展示会や常設展示場で製品を展示する際に価格の表示もしてください。
- 展示会の場での購入ができなくても、そこで気になった製品を後日購入するための方法をさらにわかりやすく広報してほしいです。

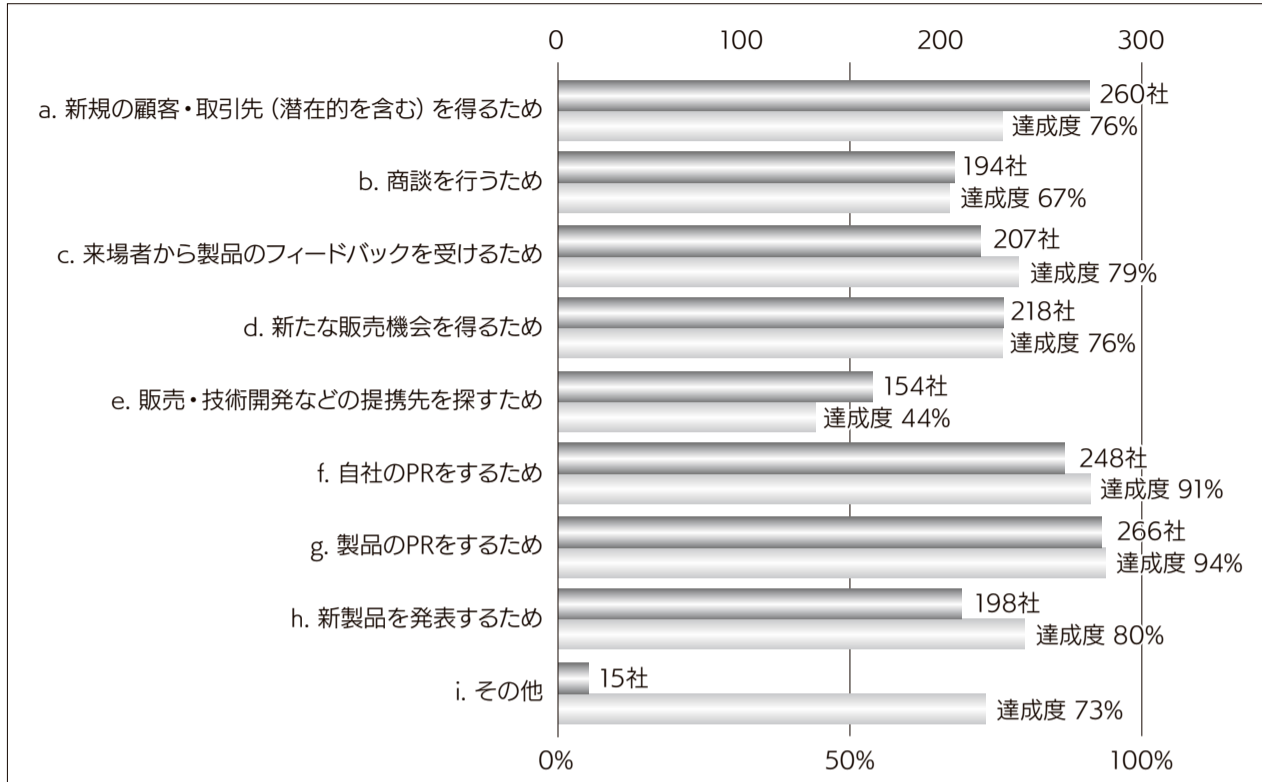
### ⑤ H.C.R.についてのご意見、ご要望（フリーアンサー 一部抜粋）

- 多様な福祉機器が数多く展示されており、最先端技術を活用した機器など新しい発見がありました。
- 感染症対策のための展示製品も多く、災害の多い日本で大いに役立つと思いました。
- 同一カテゴリーの製品でも、様々な特徴をもつ出展社が並んでいるので、機器選びの参考になりました。
- 通路の幅が広く、各出展ゾーンもどこにあるかがわかりやすいため、会場内の移動がスムーズでした。
- 将来、介護職に就きたいので、来年度以降もH.C.R.において、利用者と介護職双方の心身ともに負担のない製品を探したいです。
- 海外の製品を日本人向けに改良していることも知り、そのうえでの課題も教えてくれたため、製品の比較対象が増えて満足です。
- HCRアプリでは、一度展示製品をお気に入り登録すると、再度製品検索をせずに情報を得ることができるので、とても便利でした。
- 高齢者中心の製品が多く、それに比べると障害者・児の製品が少ないと感じ、物足りなさを覚えたゾーンもありました。
- 自立支援に役立つおむつ関連製品の出展が少ないのではと感じました。
- パラスポーツコーナーのデモンストレーションを見て、障害の有無に関わらず共生社会の中で活躍するための環境整備がさらに必要と感じました。
- 高齢者の料理講座で紹介していたレシピは比較的一般家庭向けですが、嚥下困難な利用者などを支える施設にも効果的な食事関連ブースや講座があるとありがたいです。
- 聴覚障害者向けの製品を出展する企業が少なく感じました。1つのエリアに複数の企業を集め、その製品分類に特化した展示があると良いと思います。
- 身近な情報機器などを紹介していたアルテック講座は非常に勉強になりました。次回は講座とともにアルテックの相談コーナーもあれば良いと感じました。
- 福祉機器開発最前線などで最先端技術を活用した福祉機器を紹介していますが、それらの機器利用に対する詳細な評価の結果が知りたいです。
- 展示会場だけでは知ることが難しい、実際の福祉現場での活用ノウハウや実践方法をセミナーで知ることができ、明日からの業務に活かしたいと思います。
- 展示会場とセミナーなどの各種イベントの会場がほとんど同一会場で行われていたのは便利でした。来年度以降も同一会場にてできる限りの情報を得たいです。
- 展示会場が広すぎるので、時間が限られている人にとっては、1つひとつの製品をゆっくり見にくいと感じました。
- ホールの案内図を当日配布だけでなく、その前からH.C.R.WebサイトなどにUPしてもらえると、ブース巡りの計画を立てやすいです。
- 製品を「みて、さわって、知る」ことはできますが、体験できる製品・スペースは少なく、実際に使用するイメージがわきにくいものもありました。
- 車いすユーザーの来場者が増えているように感じるので、移動のしやすさへの工夫だけでなく、ユニバーサルトイレの増設を希望します。

## 9 | 出展社アンケート結果 — 国内286件、海外38件回収

### ① H.C.R. 2018 への出展の目的と達成度 (複数回答)

#### 【国内出展社】

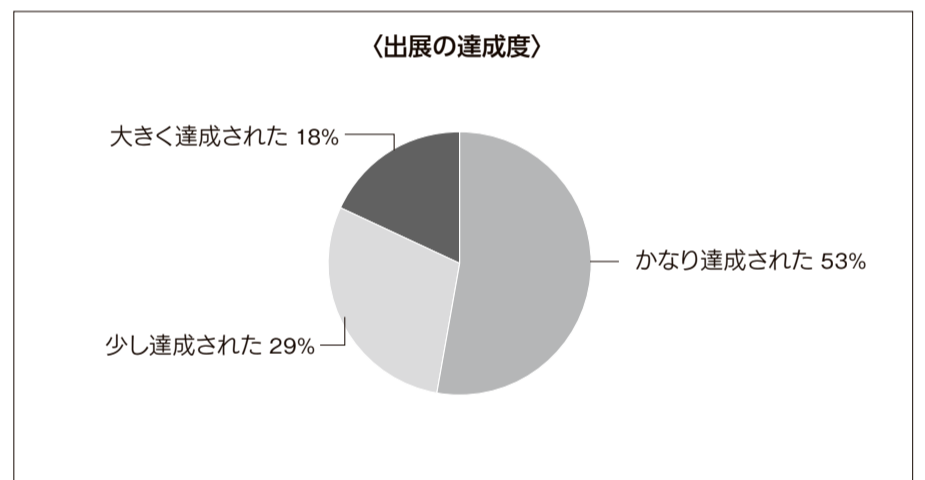
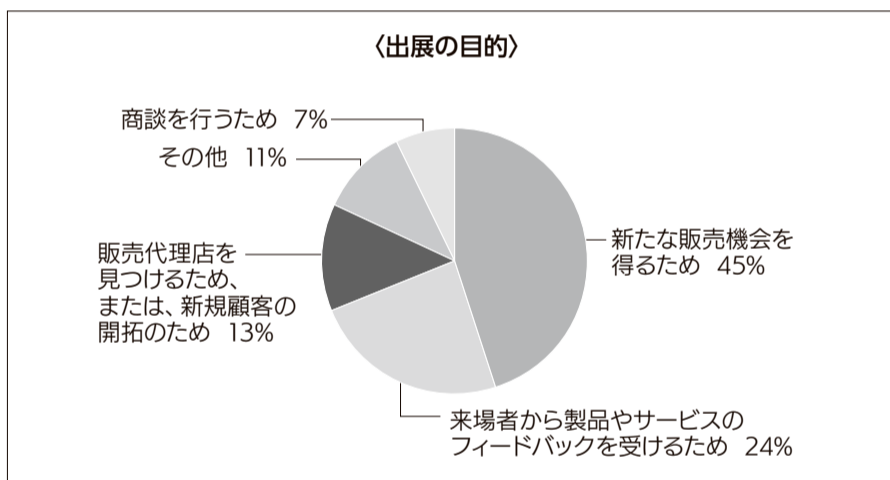


#### 【i.その他】の具体的な内容

- ・ 他社の製品を一度に見られる
- ・ 企業プレゼン
- ・ 靴の試し履きで意見を聞くため (履き心地)
- ・ 助成した事業の成果の発表
- ・ 市場リサーチ
- ・ 子ども広場での商談・商品説明
- ・ 書籍の販売実績を出すため
- ・ 開発中製品のニーズ調査、ヒアリングのため
- ・ 業界動向の情報収集のため
- ・ 福祉機器ユーザーや支援者との情報交換
- ・ 理学療法 (士) の広報

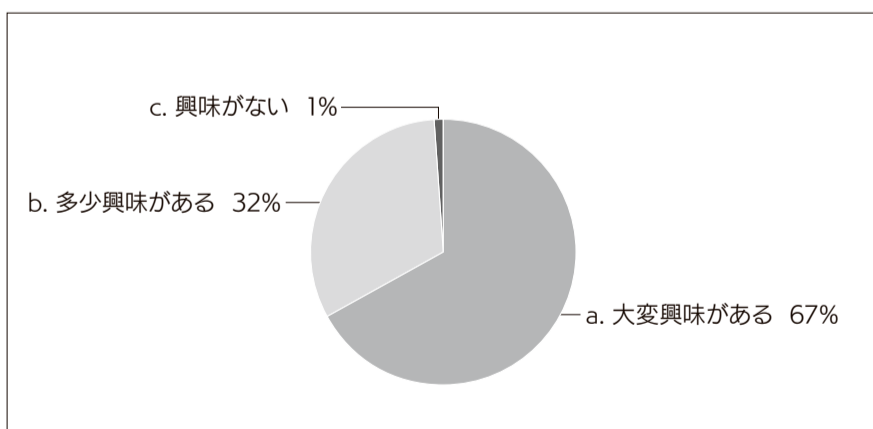
達成度：「i. 達成できた」「ii. 多少達成できた」「iii. あまり達成できなかった」「iv. 達成できなかった」の4択のうち、i・iiの割合の合計

#### 【海外出展社】



### ② H.C.R. 2019への出展予定

#### 【国内出展社 & 海外出展社】



### ③ ご意見、ご要望 (一部抜粋)

1. 市場ニーズの把握や顧客の開拓につながる話ができ、大変有意義でした。
2. 出展ゾーンもきちんと分類されており、来場者にとっても見やすく、信頼もあつい展示会のため、出展することに意義を感じています。
3. 多くの来場者に対し、出展製品のPRを行うという目的を達成できたので、次回も出展し、私たちが開発した介護、福祉用具を広く伝えていきたいです。
4. 初めての出展でしたが、スタッフの方々の的確かつ丁寧な対応があり、とても心強かったです。
5. 来場者が多いため、私たちが開発した障害のある人への就労支援機器に目を向けてくれた人も多く、次回も出展をしたいです。
6. H.C.R.をメディアなどにさらに取り上げていただくよう引き続き広報をよろしくお願いします。
7. 年々、福祉機器販売企業の方々の来場が増えているように感じています。引き続き多くの関係者に来場いただきたいです。
8. 会場面積がさらに拡大しているため、来場者にとってこれまで以上に見やすくなる工夫を講じていただければと感じました。
9. 来年は会場が西・南展示ホールになるため、出展に関するアナウンスを早めにしていただけるよう検討をお願いします。
10. 搬出時の先行搬出車両の取り扱いには非常に助かりました。来年は、展示ホールが変更になるので搬入出に係る時間的配慮などを引き続きお願いします。
11. 2019年以降のH.C.R.では、パラリンピックに向けた企画や、来場者・出展社とのビジネスマッチング (商談) 企画があると、さらに出展するメリットが広がると思います。
12. 国をあげて力を入れている「介護ロボット」のゾーンを新設するなどして関連製品をまとめ、紹介できる場があるとよいと思います。
13. 認知症の人などを日常的にサポートできる見守り機器を中心としたゾーンの設置を検討していただきたいです。

## 10 | 広報、PR活動

H.C.R. 2018 の開催を広く周知するため、本会および H.C.R. の関係者やこれまでに来場いただいた方などへ DM ハガキ 80 万枚、ポスター 7,000 枚、リーフレット 32 万枚を作成し、事前配布しました。また、プレス関係者などに向けて、保健福祉 News (H.C.R. News) の発行や、昨年まで H.C.R. の会期直前 (8 月～9 月) のみ発行していたプレスリリースをリニューアルし、年間を通してより多くの方に役立つ H.C.R. 関連情報などの配信を行いました。

さらに、H.C.R. Web サイトでは、H.C.R. 2018 の多彩なイベントプログラムの情報などを随時更新したほか、スマートフォン対応の HCR アプリでは、展示会場における来場者のスムーズな移動や、展示製品情報をより簡単に得るためのさらなる充実を図りました。

なお、右記のメディアや記事において、H.C.R. 2018 の開催を含めた情報が報じられました。

### ● テレビ

テレビ東京	WBS (ワールドビジネスサテライト)	10/10 23:00～23:58
Eテレ	ハートネットTV	10/16 20:00～20:30

### ● 新聞、業界紙、情報誌、機関誌

福祉新聞	3/19、7/30、9/3
時空光学新聞	4/1
国際イベントニュース	8/25
ふれあいケア	9/1、10/1
月刊福祉	9/1、10/1
経済産業省ニュースリリース	9/7、9/11
やまなしの福祉	9/19
経営協	9/26
日経ヘルスケア	9/28
福祉介護テクノプラス	9/28
医理産業新聞	9/28、11/1
月刊ケアマネジメント	9/30
社協うえだ	10/1
福祉用具の日しんぶん 2018	10/1
シルバー新報	10/5、10/19
ケアビジョン	10/7
読売新聞	10/9
シルバー産業新聞	10/10
家具週報	10/16
みまもりプレス	10/18
月刊文具	10/30
東京室内装飾新聞	11/1

### ● Web News

Value Press !	5/24
Abema TIMES	8/20
PR TIMES	9/11、9/26
薬事日報	9/26
Response	9/26、10/6、10/8、10/16、10/17
CNET Japan	10/4、10/10
carview	10/4、10/5、10/12、10/15、10/16、10/17、10/19
産経フォト	10/5
静岡新聞 SBS	10/5
マイライフニュース	10/5
YOMIURI ONLINE	10/5
新建ハウジング	10/8、10/12、10/13
innavi net	10/10
宮崎日日新聞社	10/10
yomiDr. (読売新聞)	10/10
官庁通信社	10/11
ゴムタイムス	10/11
建設通信新聞 DIGITAL	10/12
BIGLOBE ニュース	10/12
日経デジタルヘルス	10/12、10/19
Report	10/12、10/15
ITmedia NEWS	10/13
ゴム報知新聞	10/16
ニコニコニュース	10/16
月刊イベントマーケティング	10/19
S-MAX	10/22、10/24、10/26
Impress Watch	10/24
GetNavi web	10/26
PANORA	10/26

## 11 | 車いす貸出コーナー&シャトルバス

H.C.R. 2018 では、会場内の移動に車いすが必要な来場者に対して、出展社の車いす製品の貸出しを行い、3 日間で 223 件の貸出し依頼がありました。

また、会期中はシャトルバスを無料運行し、延べ 6,898 人の利用がありました。

本会は来年度以降の H.C.R. 開催においても引き続き、歩行が困難な来場者などへの配慮に努めてまいります。

### ■ 車いす貸出協力出展社

- (株)いすら
- WHILL(株)
- (株)キュリオ
- (株)コスモテック
- 大和ハウス工業(株)
- (株)フォーライフメディカル
- フランスベッド(株)
- ヤマハ発動機(株)

※社名50音順

### ■ シャトルバス運行概要

運行区間	りんかい線「国際展示場駅」⇄ 東京ビッグサイト東展示ホール
運行期間	2018年10月10日(水)～12日(金)の3日間
運行時間	9:30～17:30 (ただし、最終日は16:00まで)

## 12 | H.C.R. ぼくらの小麦Cafe

H.C.R. 2018 では、東 8 ホール内に飲食スペース「H.C.R. ぼくらの小麦 Cafe」を開設しました。ベーカリーや食堂を運営する社会福祉法人による事業所の利用者が育てた小麦「ぼくらの小麦」を使用したパンや焼き菓子などを販売し、多くの来場者にブース巡りの合間のくつろぎのひとときを提供しました。

【協力】社会福祉法人 開く会 共働舎 ファール・ニエンテ、NPO法人 日本セルフセンター

## 13 | 東7・8ホール来場者誘導、流入結果

H.C.R. 2018 では、新たに 7・8 ホールを加えた東展示ホールすべてを使用し、過去最大規模の面積により開催しました。主催者においては、7・8 ホールを会場に加えるにあたり、当初より、1～6 ホールとは別棟の建物である両ホールへいかに来場者誘導をするかについて対策を検討してきました。

主な対策として、①注目度が高いと見込まれる特別企画を 7 ホールに配置し、Web サイトなどで事前告知、②シャトルバス利用の来場者が必ず 7・8 ホールの建物に立ち寄るよう乗降場を配置、③東京ビッグサイト内 (中央エントランス・北コンコース・ガレリア) に途切れなく 7・8 ホールへの誘導サインを設置、を実施しました。

その結果、東京ビッグサイトによる集計では、7 ホールへ入場した来場者数の累計は、3 日間で約 5 万 1,000 人となり、1～7 ホールの平均 4 万 5,000 人を上回りました。この数値は、1～6 ホールの両端 (1、3、4、6 ホール) と比較すると、特に入場が多い 1 ホールの約 6 万人には及ばないものの、3、4、

6 ホールとは遜色のないものです。

主催者としては、この結果を一定の成果と捉えつつも、出展社から頂戴した 7 ホールに関するご意見・ご要望を受け止め、より行き届いた展示会となるよう今後の会場を計画していきます。

## 14 | 2018年度版 福祉機器ガイドブック

本冊子は、H.C.R. 2018 に出展された国内 282 社、海外 84 社の多彩な福祉機器が約 1,600 点収録されています。会期中はご購入いただいた来場者の皆さんが気になる福祉機器を探すうえでの一助とされていました。

本冊子は、会期中のみならず年間を通して販売しており、保健福祉広報協会ホームページの「出版物のご案内」(<https://www.hcrjapan.org/book/>) からご注文いただけます。ぜひご購入いただき、日常の福祉機器選びにお役立てください。

〈仕様〉・A4判：250頁 (カラー) ・価格：1,000円 (税込、送料別)  
・発行：2018年9月10日

※「送料」と、「代金引換」もしくは「代金振込」に関わる手数料は申込者負担です。



### 次回開催予定

#### 第46回国際福祉機器展 H.C.R. 2019

- 会 期：2019年9月25日(水)～9月27日(金)【3日間】
- 会 場：東京国際展示場「東京ビッグサイト」西・南展示ホール (東京都江東区有明)
- 入 場 料：無料 (登録制：事前もしくは当日) ※一部の講座等は有料
- 来場者数：約12万人 (見込み)
- 出 展 社：約550社 (見込み)
- 出展募集：2019年2月1日(金) 開始予定

#### H.C.R. 2019のご出展について

H.C.R.は2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の関係から、2019年は東京ビッグサイト「西・南展示ホール」に会場を移して開催します。

本会では、西・南展示ホールに移り、出展要項などの諸規定を会場の仕様などを反映した内容に改めるべく作業をすすめています。特に、西・南展示ホールはいつでもホールが上下階層に分かれていること、搬入出の際、ホール周辺に車両を留め置くスペースが十分でないことといった仕様により、これまでよりも出展に係る制約が増えることが見込まれます。出展をご計画の企業・団体の皆さまにおかれましては、以上につきましてあらかじめご承知おきくださいますようお願いいたします。

H.C.R. 2019へのご出展に関する情報については、2019年1月中旬に順次 H.C.R. Web サイトなどで公表します。